

国際ロータリー第2640地区

世界社会奉仕委員会御中

新宮ロータリークラブ

会長 尾崎 幸雄

国際奉仕委員会

委員長 瀬古 伸廣

2010～2011年度 活動報告書

## 世界社会奉仕（WCS）

みだしの件につき、当クラブで実施したWCS（世界社会奉仕）活動について、下記の通り報告致します。

### 1) 活動内容

実施国： インドネシア国

相手国ロータリー： バリ・タマンロータリークラブ

活動目標： 新宮ロータリークラブでWCS活動を実施します。バリ島の高地にある村に、雨水をためる井戸を寄贈し、少しでも水の利用環境が改善されるよう、協力させていただきたいと思っております。

### 2) WCS内訳

WCS実施総金額 ￥ 160,084 円

クラブからの寄付金額 ￥ 80,042 円

【クラブ寄付内訳】 62名 × ￥ 1,291 円 = ￥ 80,042 円

地区ファンド申請金額 ￥ 80,042 円

【地区ファンド申請内訳】 62名 × ￥ 1,291 円 = ￥ 80,042 円

### 3) 活動結果

貯水槽の建設は2月上旬に始まり、3月中旬に終わりました。現地で貯水槽建設を担当してくれたグループは、ロータリークラブ・バリ・タマンが支援をし、牛の飼育もしているRCC. Gumi Makmur という集まりの人々です。

貯水槽の大きさは 約横3m×縦3m×深さ3mで約27立方メートルの水をためることができます。同じ大きさの貯水槽が2基作られました。

1基は村のプスケスマスという国が運営する診療所の横に作られました。この診療所は比較的最近に建設されたものですが、井戸もなく水の確保が困難でした。この貯水槽は診療所の屋根から雨水をためるように作られています。作られた貯水槽により、村の人々の診療がより衛生的に行えるようになりました。診療所の隣は幼稚園に改築される予定の建物があり、貯水槽のおかげで計画もすすみそうです。

もう一基は山の中に作られました。山の中の民家の人々も水の確保が困難でありましたが、この貯水槽のおかげで水を得ることができ、喜ばれています。

以下は貯水槽を作る前と完成の写真です。簡単な説明を入れています。



受けったお金を渡し、日程や計画について話を聞いています。



診療所横、貯水槽建設前の様子。小さなタンクを置いてしのいでいました。



診療所の前で。貯水槽担当者 RCC の長、診療所職員、RC バリタマンのメンバー、子供達



診療所横に完成した貯水槽



診療所の横にある建物。修繕して幼稚園になる予定。貯水槽のおかげで幼稚園建設の予定も進みそうです。



山の中の貯水槽完成